

2023 年 9 月 27 日

各位

名古屋市中区栄三丁目 33 番 13 号
株 式 会 社 中 京 銀 行



＜中京＞ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

株式会社中京銀行（頭取 小林 秀夫）は、井桁堂株式会社（本社愛知県豊田市、代表取締役 服部 剛士）と、＜中京＞ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約を締結しましたので、お知らせいたします

当行は、これからもお客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGs の趣旨に賛同するお客さまとともに持続可能な社会の実現を目指してまいります。

記

1. 融資概要

契約締結日	2023 年 9 月 27 日（水）
融 資 金 額	100 百万円
融 資 期 間	10 年
資 金 使 途	運転資金

2. 井桁堂株式会社の概要

本店所在地	愛知県豊田市高岡町松葉 145 番地 1
代 表 者	服部 剛士
事 業 内 容	和洋焼菓子・冷凍和洋菓子の製造、菓子の OEM 生産受託 高級進物の加工
設立年月日	1986 年 7 月 18 日
電 話 番 号	0565-40-9201

3. 特定されたインパクトと測定する KPI（2030 年に向けた目標）

（1）フードロスの削減に向けた取り組み
①2030 年 6 月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを 2022 年 6 月期比にて、20%削減する
（2）全ての従業員が働きやすい環境づくり
①あいちファミリーフレンドリー企業の登録（2025 年 6 月期までに登録）
②あいち女性輝きカンパニーの認証取得（2025 年 6 月期までに取得）
③ホワイト企業認定の取得（2025 年 6 月期までに取得）

(3) サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決の取り組み

- ①サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加（2024 年 6 月期の販売数量目標 2 万個とし、每期前期比 10%の販売数量アップ）
- ②サステナブル商品のラインナップの拡充（2030 年 6 月期までにサステナブルチョコレートの商品を 5 アイテム発売する）

【記念盾贈呈式の様子】



株式会社中京銀行
取締役専務執行役員 小島 教彰

井桁堂株式会社
代表取締役 服部 剛士

4. ポジティブ・インパクト・ファイナンスについて

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。

KPI の達成に向けて取り組む過程を対外的に発信することで、お客さまの社会的評価の向上が期待されます。

本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF 原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

以 上

「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」評価書
～井桁堂株式会社～

2023年9月27日
株式会社中京銀行
営業推進部
ソリューション営業グループ

目次

はじめに	2
1. 企業概要	2
① 会社概要	
② 企業沿革	
③ ビジネスモデル図	
④ 経営理念・社長メッセージ	
2. 事業内容	5
① 自社オリジナル商品の高いブランド力と開発力	
② 名古屋ふらんす直営のスイーツギフト&ティーサロン	
3. ESG・SDG s の取り組み	7
(1) 食品ロスの削減	
(2) すべての従業員が働きやすい環境づくり	
(3) 環境への配慮	
(4) チョコレートでサステナブルな社会の実現に貢献	
(5) その他SDG s に対する取り組み	
4. インパクトの特定	11
(1) バリューチェーン分析	
(2) インパクトマッピングによるインパクト分布	
(3) 特定したインパクト	
(4) 国内のインパクトニーズ	
(5) 海外のインパクトニーズ	
(6) 特定したインパクトに対する中京銀行の方向性との確認	
5. 測定するKPI (2030年に向けた目標)	16
① フードロス削減に向けた取り組み	
② 全ての従業員が働きやすい環境づくり	
③ サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決への取り組み	
6. インパクトの管理体制	17
7. モニタリング方法	17
8. 総括	17

はじめに

株式会社中京銀行は、井桁堂株式会社の事業活動が「環境」・「社会」・「経済」に及ぼすインパクトを分析・評価しました。この分析、評価は、国際環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、中小企業に対するファイナンスに適用しています。

<融資条件概要>

融資形態	証書貸付
融資金額	100,000,000円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	10年

1. 企業概要

①会社概要

■井桁堂株式会社

会社名	井桁堂株式会社
設立年月日	1986年7月18日
資本金	30,000,000円
代表取締役	代表取締役社長 服部 剛士
事業内容	和洋焼菓子・冷凍和洋菓子の製造、菓子のOEM生産受託 高級進物の加工
本店/本社工場/配送センター 日進工場 豊田工場	愛知県豊田市高岡町松葉145番地1 愛知県日進市藤枝町西外面16 愛知県豊田市堤町西住吉13
従業員数	267人（パート社員含む）

■株式会社ハートリー

会社名	株式会社ハートリー
設立年月日	1976年9月1日
資本金	12,000,000円
代表取締役	代表取締役社長 服部 剛士
事業内容	全国専門店への菓子販売
本店/配送センター 東京支社	愛知県豊田市高岡町松葉145番地1 東京都足立区中央本町2-25-5
従業員数	48人（パート社員含む）

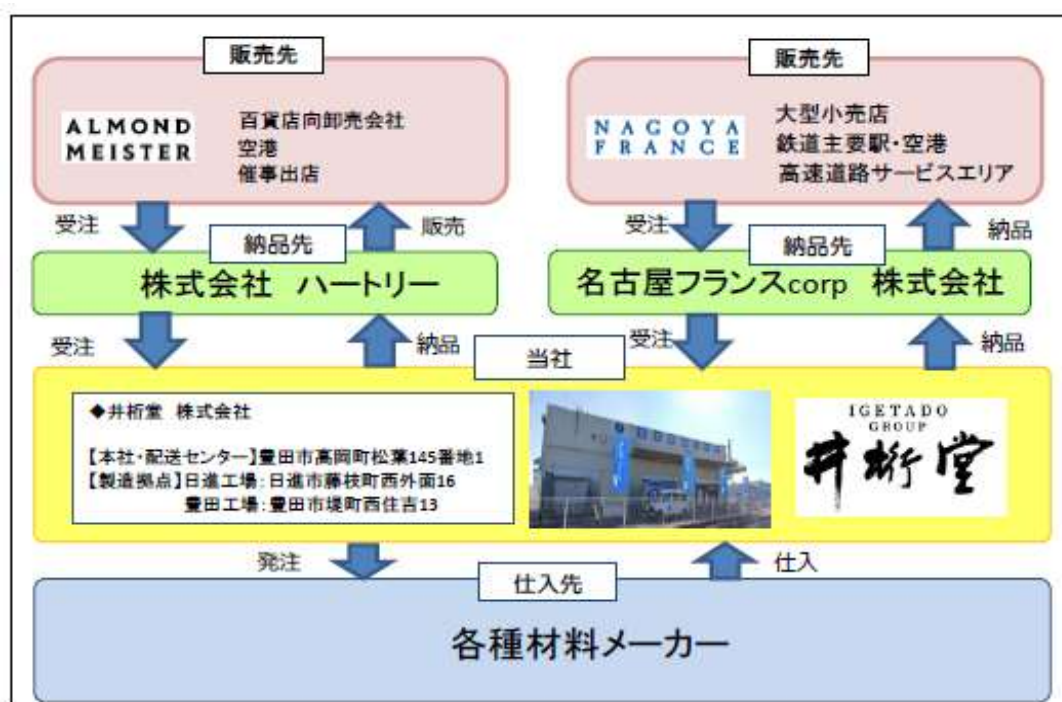
■名古屋フランスcorp株式会社

会社名	名古屋フランスcorp株式会社
設立年月日	2004年6月10日
資本金	10,000,000円
代表取締役	代表取締役社長 服部 剛士
事業内容	菓子の製造、販売、及び直営店舗、通販事業
本店/配送センター 【直営店舗】 サロン・ド・テ 名古屋ふらんす 本店 あさひ長久手店	愛知県豊田市高岡町松葉145番地1 愛知県みよし市明知町立山15-1 愛知県尾張旭市南栄町旭ヶ丘16-1
従業員数	50人（パート社員含む）

②企業沿革

1974年	創業
1976年	株式会社ハートリー設立
1986年	井桁堂株式会社設立
2004年	名古屋ふらんすcorp株式会社設立
2012年	豊田工場竣工・稼働
2015年	サロン・ド・テ 名古屋ふらんす 本店開店
2017年	サロン・ド・テ 名古屋ふらんす あさひ長久手店開店
2020年	井桁堂株式会社、株式会社ハートリー、名古屋フランスcorp株式会社各本社を日進市から豊田市へ移転

③ビジネスモデル図



④経営理念・社長メッセージ

経営理念・経営目的

【経営理念】

幸せあふれるお菓子の文化を創造します。

【経営目的】

一、お客様の満足づくり

時代の変化に対応し、お客様の要求に沿った感動を呼ぶお菓子をつくり提供していきます。

一、働く人の満足の追求

働く人のそれぞれの物心両面の幸せな人生をサポートできるようにします。



～社長メッセージ（抜粋）～

お菓子は人の生活の様々なシーンにおいて潤いをもたらします。

とりわけ私たちはアーモンドという美味しさと健康的な素材の魅力を活かした食品を通じてお客様に潤いのある生活を提供していきたいと考えています。

その為にも今後はアーモンドの栽培から企画、研究開発、製造、販売にわたって手掛ける垂直統合を目指し、アーモンド食品のオンリーワン企業になりたいと考えています。



2. 事業内容

井桁堂グループは、1974年の創業以来、特色あるお菓子の製造・販売を手掛けてきた。

今日では、銘菓「名古屋ふらんす」の製造・販売、およびカフェ・レストラン「サロン・ド・テ 名古屋ふらんす」の運営を担う名古屋フランスcorp株式会社のほか、お菓子全般の販売を担う株式会社ハートリー、原材料の調達・製造を担う井桁堂株式会社は、マカロンなどのメレンゲ菓子をはじめ、焼菓子、ゼリーや冷凍スイーツの製造、菓子のO E M生産受託、高級ギフトの加工を行っている。これらの3社による井桁堂グループは安定した経営基盤を築いている。

① 自社オリジナル商品の高いブランド力と開発力

井桁堂株式会社のオリジナル商品である「名古屋ふらんす」は世界食品コンテストでモンドセレクション金賞を受賞、名古屋土産として駅の売店やS A等で販売されており認知度が高い。

近年では、自社挽きたアーモンド商品を開発しており、新たなブランド「アーモンドライフ」を展開、アーモンドスイーツ専門店「ALMOND MEISTER」を東京都蒲田に出店するなど新たなブランドを確立している。



名古屋ふらんす <受賞歴>

◆2005年～2022年

【受賞】18年連続 モンドセレクション金賞

◆2005年

【受賞】なごや土産品デザイン優秀賞

◆2013年

【受賞】第26回全国菓子大博覧会 名誉総裁賞



② 名古屋ふらんす直営のスイーツギフト&ティーサロン

スイーツショップとカフェ・レストランを融合した名古屋ふらんすのサロンショップとして、「サロン・ド・テ 名古屋ふらんす」を愛知県内に2店舗経営。

専用の工房を併設しており、新しい設備ときちんとした品質管理のもと、焼き立て・作りたてのお菓子をお客さまに提供することが出来る。

また、名古屋ふらんすについては鉄道主要駅、空港、高速道路サービスエリア、大型小売店店舗など幅広い店舗での取り扱いがある。

Salon de thé NAGOYA FRANCE

サロン・ド・テ 名古屋ふらんす



サロン・ド・テ 名古屋ふらんす 本店

住所：愛知県みよし市明知町
立山15-1

営業時間：9:00 ～ 19:00

モーニング：9:00 ～ 10:30

ランチ：11:00 ～ L.O.15:00

ティータイム：11:00 ～ L.O. 16:00



サロン・ド・テ 名古屋ふらんす あさひ長久手店

住所：愛知県尾張旭市南栄町
旭ヶ丘16-1

営業時間：9:00 ～ 18:00

イトイン：9:00 ～ 16:00

「名古屋ふらんす」シリーズ お取り扱い店舗一覧

鉄道主要駅

JR名古屋駅、金山総合駅、三河安城駅、豊橋駅 キヨスク各店舗、他店舗、近鉄名古屋駅、名鉄バスセンター

空港

中部国際空港 セントレアおみやげ館、中部国際空港 ANA FESTA 中部ゲートショップ、県営名古屋空港 スカイショップ翼

高速道路サービスエリア

新東名、新名神、東名名神、東名阪、北陸自動車道、中央道 各SA、PA

大型小売店店舗など

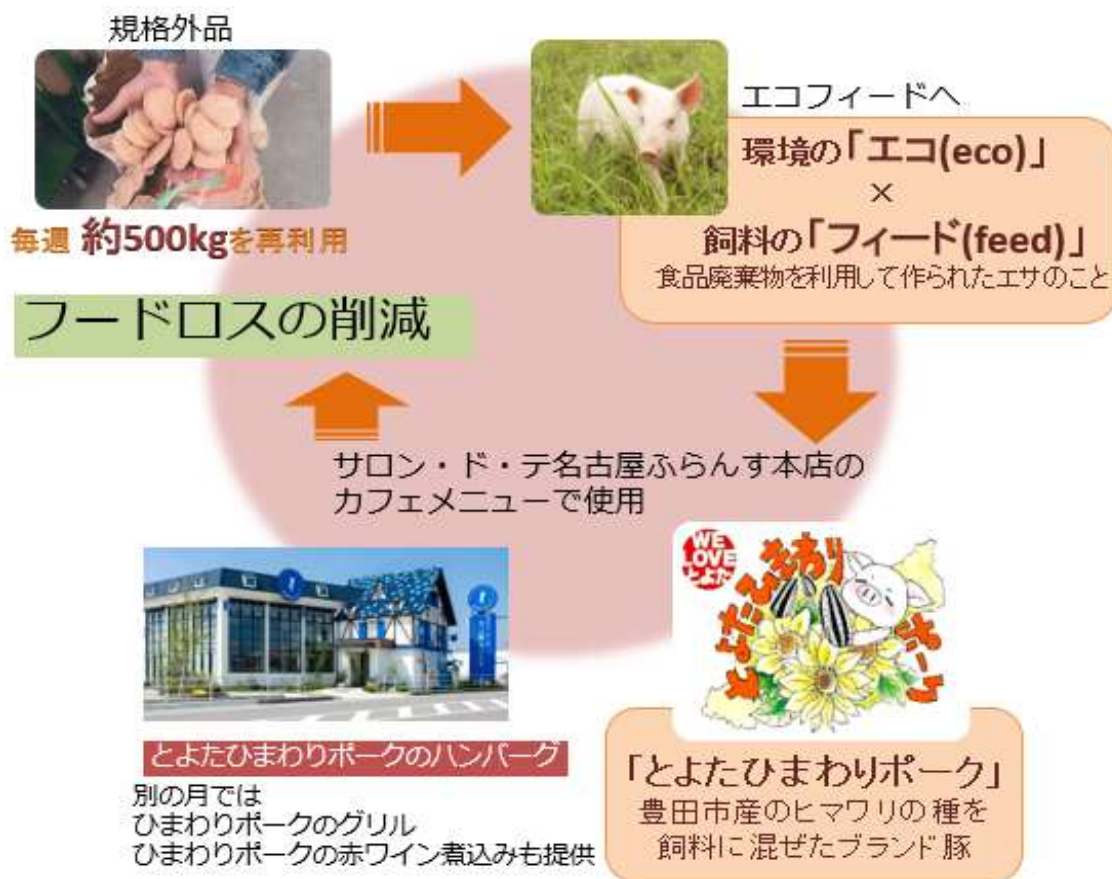
イオン、パロー、イトーヨーカドー、ユニー、マックスバリュ、平和堂、ヨシヅヤ、西友、清水屋、オークワ/パレマルシェ、ヤマナカ、フィール、他

3. ESG・SDGsの取り組み

(1) 食品ロスの削減

① 規格外品を豚の餌として使用

当社は、食肉用豚生産のトヨタファームと連携し、焼き菓子の規格外品を豚の餌に活用する取り組みを行っている。製造過程で発生する規格外品は、これまでそのほとんどを産業廃棄物として処理していたが、規格外品の有効活用で、フードロス削減に貢献し、SDGs達成に向けた取り組みに力を入れている。育てた豚の肉は系列レストランで提供し、循環型の食品リサイクルを実現している。



② フルーツ缶のシロップを再利用

ゼリー製品の製造において、フルーツ缶を使用しているが、フルーツ缶のシロップは使用しない為、製造を始めた当初は缶のシロップは汚水として廃棄していた。しかし、現在では2通りの方法でシロップの再利用に取り組んでおり、フードロスの削減や水質汚染への対策に繋がっている。

- ・製品のゼリー液に一部のシロップを混ぜ込むレシピに改良

- 製品の改良を行い、シロップを活用するレシピに変更したことで廃棄量を減らしている。

さらに、果肉の風味が付いたシロップを加えることで、ゼリーの風味が良くなり、美味しさのアップにも繋がっている。

- ・廃棄物（バイオマス資源）をもとにエネルギー資源を生成

- バイオマス資源の再利用を行う専門業者に廃棄となるシロップを持ち込み、メタン発酵を行うことでエネルギー資源を生成することに取り組んでいる。



③ その他食品を無駄にしない取組

- ・「訳あり菓子」の自動販売機

→ 製造過程の中で、味の品質には問題無いが、欠けや割れなど型崩れとなった商品についても、「訳あり菓子」として当社日進工場玄関前に設置した自販機で販売している。

- ・直営サロンショップでの箱売りによるお値打ち販売の実施

→ 賞味期限が近くなってしまった商品を箱売りにてお値打ち販売し、お客様に購入して頂くことでフードロスの削減に取り組んでいる。



（２）全ての従業員が働きやすい環境づくり

当社においては全ての従業員にとって働きやすい職場環境をつくるため、社内規定や研修体制の見直しを随時行っている。具体的には下記の取組を実施しており、2023年中において、あいちファミリーフレンドリー企業登録、あいち女性輝きカンパニー認証、ホワイト企業認定の申請を行う方針となっている。

女性の採用や管理職登用にも積極的であり、2023年8月現在では、社員全体に占める女性社員の割合は約78%を占めており、女性管理職も13名（常務1名、係長2名、主任2名、リーダー8名）となっている。

＜2023年1月より開始した取組＞

- ・ 月2回のプロジェクト会議の実施
- ・ 働き方改革規定の作成
- ・ 男性育児参画研修の実施
- ・ 管理職研修（評価者研修、ハラスメント研修）の実施

＜2024年以降の実施を検討している取組＞

- ・ 社員キャリア形成面談の実施
- ・ 社員ライフプラン研修の実施
- ・ 次世代リーダー候補研修の実施
- ・ 社員向け福利厚生制度の導入（選択制確定給付年金等）

（３）環境への配慮

自然エネルギーの再利用によるCO₂削減の取組

- ・ 豊田工場の天井に太陽光パネルを設置しており、2023年3月より太陽光による発電を実施している。これにより、工場の電力の一部を自社で供給することが出来るようになっている。

自家発電により、太陽光パネル設置前と比較し、約21.05%のCO₂排出量（年間）の削減が可能となっている。

自家発電することで、

CO₂の排出量(年間)
約21.05%削減予定



※設置したパネルの実物写真



豊田工場

（４）チョコレートでサステナブルな社会の実現に貢献

今秋よりサステナブルチョコレートを使用した名古屋ふらんすブランドの新商品を発売開始。店舗やバレンタイン時期に量販店でも販売予定。初年度個（2024年6月期）数販売目標は2万個。

また、ビタミンEやアーモンドプロテインが豊富に取れるアーモンド菓子の開発も予定している。



※サステナブルチョコレートとは？

サステナブルチョコレートとは、主に地球規模の課題に配慮して作られたカカオ豆＝サステナブルカカオから作られたチョコレートのこと。

世界各地のカカオ産地では、木の高齢化や病虫害、栽培技術の周知不足による収穫量の減少などのほか、十分な収入が得られないことや児童労働、森林減少など様々な課題がある。

人権、環境、経済などカカオ産地における課題を改善・解決するために支援を行い、生産されるカカオが「サステナブルカカオ」である。

【具体的な取り組み】

- ・ カカオ農家が安定した生産を行い生活を豊かにするサポート
- ・ カカオの収穫量向上の為に生産技術や道具のサポート
- ・ 生産国での児童労働を予防、解決する仕組みづくり

（５）その他SDGsに対する取り組み

上記の他、地域で毎月1回実施される子供食堂へのお菓子の提供や地産地消の取組として、豊明市の農園で収穫されたメロンを使用したケーキの販売なども行っている。

4. インパクトの特定

(1) バリューチェーン分析

◆ 同社グループのバリューチェーン図



(2) インパクトマッピングによるインパクト分布

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施する。

同社グループおよび同社グループの川上・川下の事業を国際産業標準分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FIが提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」と「ネガティブインパクト」を想定する。

同社グループの事業については「パン製品製造業」「ココア・チョコレート及び砂糖菓子製造業」「食料品・飲料及びたばこ卸売業」「通信販売またはインターネットによる小売業」を、川上の事業については「農産品原料及び生き物卸売業」を、川下の事業については「専門店による食料品小売業」をそれぞれ適用し、インパクトの検証を実施。同社グループの事業については、該当するすべてのインパクトカテゴリについて分析する。川上・川下のカテゴリについては、同社グループが関与できる部分を分析対象とする。

分布図中の「赤色」は重要な影響があるカテゴリ、「黄色」は影響があるカテゴリを示す。

【当社の川上における事業のインパクト】

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業							
	樹木及び灌木に実るその他の果実及びナッツの栽培【0125】		穀物（米を除く。）・豆類及び採油用の種の栽培【0111】		飲料用作物の栽培【0127】		農産品原料及び生き物卸売業【4620】	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水								
食料								
住居								
健康・衛生								
教育								
雇用								
エネルギー								
移動手段（モビリティ）								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義・公正								
強固な制度・平和・安定								
水（品質）								
大気								
土壌								
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性								
気候								
廃棄物								
包括的で健全な経済								
経済収束								

川上の事業では、全般的に社会面のポジティブインパクト・ネガティブインパクトが想定される。当社の事業である菓子製品の製造販売を通じて、「食料」のカテゴリにおいて特にポジティブな影響が与えられる。

当社については近時では、サステナブルチョコレートを使用した商品開発を行っており、カカオの生産国での雇用の維持や労働環境の改善、生産の為の支援などに繋がっており、「雇用」面におけるポジティブな影響拡大、「雇用」及び「人格と人の安全保障」におけるネガティブな影響の緩和にも寄与している。

また、特に影響を及ぼす項目として環境面のネガティブインパクトも挙げられる。カカオの生産国においては、森林を破壊しない方法でカカオの樹の栽培に取り組むほか、カカオ及び日よけ用の木を生産者に配布するなど環境の保全や改善の支援がサステナブルチョコレートの生産を通じて行われている。

【当社における事業のインパクト】

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	当社の事業							
	パン製品製造業 【1071】		ココア、チョコレート及び 砂糖菓子製造業 【1073】		レストラン及び移動式 飲食業 【5610】		食料品・飲料及びたばこ 卸売業 【4630】	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水								
食料								
住居								
健康・衛生								
教育								
雇用								
エネルギー								
移動手段（モビリティ）								
情報								
文化・伝統								
人格と人の安全保障								
正義・公正								
強固な制度・平和・安定								
水（品質）								
大気								
土壌								
生物多様性と生態系サービス								
資源効率・安全性								
気候								
廃棄物								
包括的で健全な経済								
経済収束								

当社の事業となる菓子製品の製造・販売においては、食料品の取り扱い自体が「食料」のカテゴリに該当しており、ポジティブな影響を与えている。

また、「健康・衛生」、「雇用」面においては、ポジティブな影響とネガティブな影響を同時に与えている。当社商品の主力原料であるアーモンドはビタミンEや食物繊維、不飽和脂肪酸、ビタミンB2など様々な栄養素を豊富に含み、老化や肥満予防、悪玉コレステロールの改善など健康な体をつくる為に効果的であり、「健康・衛生」のカテゴリにおいてポジティブな影響を与え、ネガティブな影響を低減する商品となっている。「雇用」面においては、2023年1月より、働き方改革規定の作成や男性育児研修、スキルアップの実施等を開始しており、職位や性別にかかわらず全ての従業員にとって働きやすい職場環境をつくることに努めており、ポジティブな影響の拡大及びネガティブな影響の低減をさせている。

「文化・伝統」のカテゴリについてもポジティブな影響を与えることが想定される。当社主力商品である

「名古屋ふらんす」は名古屋の食文化から生まれた商品であり、和菓子の代表格である餅をフランスのお洒落な焼き菓子であるガトーでサンドした商品。名古屋土産として定番商品となっており、地域においても大きな影響を与えている。

また、環境面においては、「水」、「資源効率・安全性」、「気候」、「廃棄物」のカテゴリでネガティブな影響を与える。規格外品の豚の餌としての再利用やフルーツ缶のシロップの再利用など、フードロス削減の為に当社が注力している取組が、環境面におけるネガティブなインパクトを低減することに貢献している。更に現在では環境負荷低減の為に一部商品で環境に配慮したプラ軽減フィルムなどの採用も検討している。「気候」面では、当社豊田工場の天井に太陽光パネルを設置しており、工場の電力の一部を自家発電で賄うことで、CO₂の排出を抑制しており、ネガティブな影響が低減されている。今後は、商品輸送時に発生する排気ガス削減など「大気」や「生物多様性と生態系サービス」のカテゴリにおいてもネガティブインパクトを低減する取組が求められる。

経済面においても、当社はポジティブな影響を与えている。当社の事業領域については、原材料の調達から菓子製品の製造・販売、飲食まで多岐に渡ることで、サプライチェーンが形成されており、「包括的で健全な経済」のカテゴリにおいてもポジティブな影響を与えている。

【当社の川下における事業のインパクト】

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川下の事業					
	専門店による食料品小売業 【4721】		その他の非専門店小売業 【4719】		通信販売またはインターネットによる小売業 【4791】	
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水						
食料						
住居						
健康・衛生						
教育						
雇用						
エネルギー						
移動手段（モビリティ）						
情報						
文化・伝統						
人格と人の安全保障						
正義・公正						
強固な制度・平和・安定						
水（品質）						
大気						
土壌						
生物多様性と生態系サービス						
資源効率・安全性						
気候						
廃棄物						
包括的で健全な経済						
経済収束						

当社の川下の事業においては、社会面及び経済面においてポジティブな影響を与えている。その中でも「文化・伝統」や「包括的で健全な経済」のカテゴリにおいて、名古屋の食文化を反映した顧客訴求力の高い当社製品の提供を通じて、ポジティブインパクトの拡大に大きく寄与している。

(3) 特定したインパクト

主要産業の分析結果として、主に社会面と経済面でのポジティブインパクトの拡大、環境面でのネガティブインパクトの縮小が期待できる。

社会面では当社製品の主力原料であるアーモンドは様々な栄養素を豊富に含んでおり、「健康・衛生」のカテゴリにおいてポジティブな影響を与え、ネガティブな影響を低減している。「文化・伝統」のカテゴリにおいても、名古屋の食文化を反映させた当社商品は名古屋土産の代表的な商品となっており、ポジティブなインパクトの寄与に大きく貢献している。

また、当社においては、製造過程におけるフードロスの削減及び規格外品の再利用などの環境面での負荷低減の為の取組に注力している。

経済面においても、サステナブルチョコレートを使用した商品販売の開始や、製造や卸売、飲食業までを担う当社においては、「包括的で健全な経済」のカテゴリにおけるポジティブな影響を与えている。

上記分析を踏まえ、KPIを設定する。

(4) 国内のインパクトニーズ

下記に示したのは、「SDGsインデックス & ダッシュボード2023」を参照したものであり、「SDGs達成を緑色」、「課題が残っているSDGsを黄色」、「重要な課題を橙色」、「主要な課題を赤色」としている。

「4. インパクトの特定」において中京銀行が特定した井桁堂株式会社のインパクトと対応するSDGsのゴール「1, 3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 15」について、多くが課題のあるゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズと整合的である。



（５）海外のインパクトニーズ

井桁堂株式会社が製造するサステナブルチョコレートを使用した商品については、その原料となるカカオ生産国においてもインパクトを発現する。特にカカオの主要な生産国であるガーナのインパクトニーズを分析する。

特定したインパクトに対応するSDGsのゴール「１，３，６，７，８，９，１０，１１，１２，１３，１５」はガーナにおいても重要度が高いことが確認できる。



特定したインパクトカテゴリー	対応するSDGs
食料、健康・衛生	3「すべての人に健康と福祉を」
水（質）	6「安全な水とトイレを世界中に」
資源効率・安全性、廃棄物	12「つくる責任つかう責任」
生物多様性と生態系サービス	15「陸の豊かさも守ろう」
雇用	1「貧困をなくそう」 8「働きがいも経済成長も」
人格と人の安全保障	10「人や国の不平等をなくそう」
文化・伝統	11「住み続けられるまちづくりを」
気候	7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」 13「気候変動に具体的な対策を」
包括的で健全な経済	9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

（６）特定したインパクトに対する中京銀行の方向性との確認

中京銀行は、経営ビジョンにおいて「地域社会に貢献する」ことを「私たちの使命」として定め、本業を通じた環境・社会課題の解決と持続的成長を両立すべく、SDGsやESGに取り組んでいる。上記分析で特定した井桁堂株式会社の事業活動によるインパクトは、中京銀行のサステナビリティの方針と整合的である。

5. 測定するKPI（2030年に向けた目標）

中京銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理し、2030年に向けた目標としてKPIを設定した。

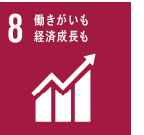
① フードロスの削減に向けた取り組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリー	「廃棄物」
関連するSDGs	
対応方針	フードロスの削減
KPI・目標	① 2030年6月期までに2022年6月期比にて、豊田工場及び日進工場における製造ロスを20%削減する

② 全ての従業員が働きやすい環境づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連するSDGs	 
対応方針	働きやすい職場環境をつくる為の社内体制整備
KPI・目標	① あいちファミリーフレンドリー企業の登録（2025年6月期までに登録） ② あいち女性輝きカンパニーの認証取得（2025年6月期までに認証取得） ③ ホワイト企業認定の取得（2025年6月期までに認定取得）

③ サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決の取り組み

項目	内容
インパクトの種類	社会面・環境面・経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリー	「食料」「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」 「生物多様性と生態系サービス」「包括的で健全な経済」
関連するSDGs	     
対応方針	サステナブル商品の販売拡大
KPI・目標	① サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加（2024年6月期販売数量目標2万個とし、每期前期比10%の販売数量アップ） ② サステナブル商品のラインナップの拡充（2030年6月期までにサステナブルチョコレートの商品を5アイテム発売する）

6. インパクトの管理体制

井桁堂株式会社は、経営者会議を最高責任機関として組織的にインパクトの管理体制を整備している。また、服部社長を中心に広報部門と連携し、サステナビリティ経営の充実に向けた施策の検討及び実施・検証する体制を構築している。

中京ポジティブ・インパクト・ファイナンスにおけるインパクトについては、服部社長と広報部門が中心となり、KPIの達成に向けた施策を展開する。

<管理体制>

最高責任機関	経営者会議
管理責任者	代表取締役社長 服部 剛士
担当部署	広報部門

7. モニタリング方法

「中京ポジティブ・インパクト・ファイナンス」で設定したKPIの進捗に対するモニタリングは、インパクト管理担当部署と株式会社中京銀行の担当部署（営業店および営業推進部ソリューション営業グループ）が年1回以上の協議にて確認する。

協議において、井桁堂株式会社は設定したKPIの達成度について情報を開示する。株式会社中京銀行は、達成度・進捗度を確認・検証したうえで、必要があればKPIの修正を検討し、同社に対して適切な助言を行い支援する。

また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センター（R&I）による包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

本件については、UNEP FIの「ポジティブインパクト金融原則」に準拠したファイナンスであり、井桁堂株式会社の事業活動がポジティブインパクトの増大およびネガティブインパクトの低減につながることを確認した。また、KPI達成に向けた取り組みやモニタリングを通じ、持続的なESGおよびSDGsへの貢献につながる取り組みであることを確認した。

以 上



セカンドオピニオン

中京銀行 ポジティブインパクトファイナンス

2023年9月27日

井桁堂株式会社

ESG 評価本部

担当アナリスト：新井 真美

格付投資情報センター（R&I）は中京銀行が井桁堂に対して実施したポジティブインパクトファイナンスについて国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブインパクト金融原則（PIF 原則）に適合していることを確認した。

R&I は別途、中京銀行のポジティブインパクトファイナンス実施体制が PIF 原則に適合していることを確認している¹。今回のファイナンスに関して中京銀行の調査資料の閲覧と担当者への質問を実施し、実施体制の業務プロセスが PIF 原則に準拠して適用されていることを確認した。

中京銀行が実施するインパクトファイナンスの概要は以下のとおり。

(1) 融資先

社名	井桁堂株式会社
所在地	愛知県豊田市
設立	1986 年 7 月
資本金	30 百万円
事業内容	和洋菓子の製造、菓子の OEM 生産受託、高級進物の加工
従業員数	267 名（2023 年 6 月末時点）

(2) インパクトの特定

中京銀行は融資先の事業内容や活動地域等についてヒアリングを行い、バリューチェーンの各段階において発現するインパクトを分析し、特定したインパクトカテゴリを SDGs に対応させてインパクトニーズを確認した。また、当社の事業活動が影響を与える地域におけるインパクトニーズとの整合性について、持続可能な開発ソリューションネットワーク（SDSN）が提供する SDG ダッシュボードなどを参照し確認した。

(3) インパクトの評価

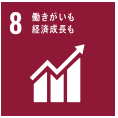
中京銀行は特定したインパクトの実現を測定できるようインパクトの内容を整理して KPI を設定した。ポジティブインパクトは SDGs 達成に寄与する取り組みとして追加性があると判断した。また、中京銀行のサステナビリティの方針と整合的であることを確認した。

¹ 2023 年 4 月 21 日付セカンドオピニオン「＜中京＞ポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体制」
https://www.ri.co.jp/news_release_suf/2023/04/news_release_suf_20230421_jpn_1.pdf

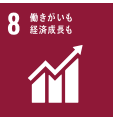
① フードロスの削減に向けた取り組み

インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「廃棄物」
関連する SDGs	
対応方針	フードロスの削減
KPI・目標	2030年6月期までに、豊田工場及び日進工場における製造ロスを2022年6月期比20%削減する

② 全ての従業員が働きやすい環境づくり

インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	 
対応方針	働きやすい職場環境をつくるための社内体制整備
KPI・目標	・ あいちファミリーフレンドリー企業の登録（2025年6月期までに登録） ・ あいち女性輝きカンパニーの認証取得（2025年6月期までに取得） ・ ホワイト企業認定の取得（2025年6月期までに取得）

③ サステナブル商品の販売拡大を通じた課題解決の取り組み

インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大 環境面でポジティブインパクトを拡大 経済面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「食料」「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」「生物多様性と生態系サービス」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	     
対応方針	サステナブル商品の販売拡大
KPI・目標	・ サステナブルチョコレートを使用した商品の販売数量の増加（2024年6月期の販売数量目標を2万個とし、每期前期比10%の販売数量アップ） ・ サステナブル商品のラインナップの拡充（2030年6月期までにサステナブルチョコレートの商品を5アイテム発売する）

(4) モニタリング

中京銀行は融資先の担当者との会合を少なくとも年に1回実施し、本PIFで設定したKPIの進捗状況について共有する。日々の営業活動を通じた情報交換も行い融資先のインパクト実現に向けた支援を実施する。

以 上

【留意事項】

セカンドオピニオンは、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定される関連業務（信用格付業以外の業務であって、信用格付行為に関連する業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置と、信用格付と誤認されることを防止するための措置が法令上要請されています。

セカンドオピニオンは、企業等が環境保全及び社会貢献等を目的とする資金調達のために策定するフレームワークについての公的機関又は民間団体等が策定する当該資金調達に関連する原則等との評価時点における適合性に対するR&Iの意見です。R&Iはセカンドオピニオンによって、適合性以外の事柄（債券発行がフレームワークに従っていること、資金調達の目的となるプロジェクトの実施状況等を含みます）について、何ら意見を表明するものではありません。また、セカンドオピニオンは資金調達の目的となるプロジェクトを実施することによる成果等を証明するものではなく、成果等について責任を負うものではありません。セカンドオピニオンは、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではなく、またそのように解されてはならないものであるとともに、投資判断や財務に関する助言を構成するものでも、特定の証券の取得、売却又は保有等を推奨するものでもありません。セカンドオピニオンは、特定の投資家のために投資の適切性について述べるものでもありません。R&Iはセカンドオピニオンを行うに際し、各投資家において、取得、売却又は保有等の対象となる各証券について自ら調査し、これを評価していただくことを前提としております。投資判断は、各投資家の自己責任の下に行われなければなりません。

R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報は、R&Iがその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、R&Iは、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、セカンドオピニオン及びこれらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明又は保証をするものではありません。

R&Iは、R&Iがセカンドオピニオンを行うに際して用いた情報、セカンドオピニオンの意見の誤り、脱漏、不適切性若しくは不十分性、又はこれらの情報やセカンドオピニオンの使用に起因又は関連して発生する全ての損害、損失又は費用（損害の性質如何を問わず、直接損害、間接損害、通常損害、特別損害、結果損害、補填損害、付随損害、逸失利益、非金銭的損害その他一切の損害を含むとともに、弁護士その他の専門家の費用を含むものとし）について、債務不履行、不法行為又は不当利得その他請求原因の如何やR&Iの帰責性を問わず、いかなる者に対しても何ら義務又は責任を負わないものとします。セカンドオピニオンに関する一切の権利・利益（特許権、著作権その他の知的財産権及びノウハウを含みます）は、R&Iに帰属します。R&Iの事前の書面による許諾無く、評価方法の全部又は一部を自己使用の目的を超えて使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）し、又は使用する目的で保管することは禁止されています。

セカンドオピニオンは、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。

【専門性・第三者性】

R&Iは2016年にR&Iグリーンボンドアセスメント業務を開始して以来、多数の評価実績から得られた知見を蓄積しています。2017年からICMA（国際資本市場協会）に事務局を置くグリーンボンド原則／ソーシャルボンド原則にオブザーバーとして加入しています。2018年から環境省のグリーンボンド等の発行促進体制整備支援事業の発行支援者（外部レビュー部門）に登録しています。

R&Iの評価方法、評価実績等についてはR&Iのウェブサイト（<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>）に記載しています。

R&Iと資金調達者との間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係はありません。